



ハトダヨ
2025年
5月号

函 館 市 中 央 図 書 館

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL:0138-35-5500 URL <https://hakodate-lib.jp/>

市 中 央 図 書 館 だ よ り

第108号 令和7年5月1日 発行

図書館からのお知らせ

4月23日(水)から5月12日(月)は、第67回こどもの読書週間です。
この“こどもの読書週間”は、子どもたちにもっと本を！との願いから
1959年(昭和34年)に始まりました。
図書館では“こどもの読書週間”にあわせて、毎年お子さん向けの
楽しいイベントを開催していますので、ぜひご参加ください。

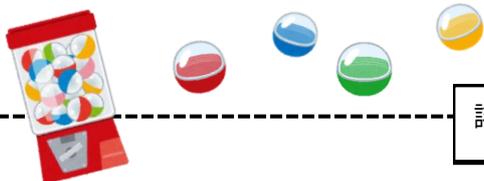


只今開催中です！

「本ガチャ」

開催:4月19日(土)~5月11日(日)
9:30~17:00
場所:児童コーナー(事前申し込み不要)
対象:児童(幼児も可)

1日1回まわせるガチャガチャで、ミッションに挑戦し
てもらうイベントです。ミッションをクリアした方には
プレゼントを差し上げます。



開催します！

「ヨムちゃんを探せ！」

開催:5月6日(火) 10:00~16:00
場所:児童コーナー(事前申し込み不要)
対象:幼児から小学生まで(先着100名まで)

児童コーナーに隠れている10個のヨムちゃんを
探すイベントです。全部見つけた方にはプレゼント
を差し上げます。



詳しくは館内のチラシ・ポスターをご覧ください

開架展示のご案内

「あいことばはヒ・ラ・ケ・ホ・ン！」

4月26日(土)~5月29日(木)
こどもの読書週間の今年のテーマは“あいことばはヒ・ラ・ケ・ホ・ン！”です。
本を開けば、そこにはドキドキ・ワクワクの世界が広がっています。
たくさん本を開いて、自分だけのお気に入りの一冊に出会いましょう。



地区図書室からのお知らせ

★★★地区図書室でも“こどもの読書週間”に合わせてイベントを開催しています★★★
お近くにお住まいの方はもちろん、そうでない方もぜひご参加ください！



「ヨムチャンクイズ」

開催：4月19日(土)～5月11日(日)
場所：千歳・湯川・港・旭岡図書室 児童コーナー
対象：小学生以下
★児童コーナーにいるヨムチャンの出すクイズ5問を
解くイベントです。参加者にはプレゼントもあります。

「読書手帳をはじめましょう」

開催：4月19日(土)～5月11日(日)
場所：地区全館(千歳・湯川・港・旭岡・桔梗)
対象：来館者全員
(各館30部配布～なくなり次第終了)
★本を100冊記録できる「読書手帳」を配布します。
表紙デザインは3つの中から選べます。

★★★地区図書室では下記のイベントも通年で開催しています★★★
こちらもぜひご参加ください！

詳しくはお近くの地区図書室まで

「本ガチャ」

場所：千歳・湯川・港・旭岡図書室
対象：小学生以下
★1日1回まわせます。
ご希望の方は各図書室のカウンターまで



「としょかんスタンプてちょう」

場所：地区全館
対象：小学生以下
★地区図書室カウンターで手帳をお配りしています。
スタンプは中央・BMでも押すことができます。

スタッフのおすすめ本

「一年一組せんせいあのね」

～こどものつがやきセレクション～

選：鹿島 和夫 絵：ヨシタケ シンスケ
出版社：理論社（2023年5月）
場所：児童20～22他 請求記号：911 イチ

1981年に出版された「一年一組せんせいあのね」という本をご存じでしょうか。神戸市の小学校教諭・鹿島和夫氏が、学級日誌の児童の言葉をそのまま本にしたものです。心に響く1年生の声は大きな反響を呼び、北原白秋賞など多くの賞も受賞しました。

2023年、この本がヨシタケシンスケさんのイラストで完全にリニューアル！読めば、40年前の1年生から、大人になったあなたに感動が届きます！



ぜひ、読んで
みて下さい！

「コロナ禍三年高校演劇」

編著：工藤 千夏
出版社：論創社（2023年8月）
場所：B6～10 請求記号：Y775.7クト

約5年前、コロナによって多くのことが制限されました。その中の一つが部活動の大会、かけがえのない青春が犠牲になりました。

この本はタイトルの通り、コロナ禍の高校演劇にスポットライトを当てています。

部活動をしているだけで濃厚接触とされ、観客がいてこそその演劇で無観客公演を行わなければいけない。青春で流す涙は数あれど、何もできずに涙を流した当時の高校生たち。彼ら彼女らの記録が戯曲とともに残された一冊です。

図書館俳句ポスト受賞者

1月俳句ポストへ応募された中から選ばれた作品です。
おめでとうございます。お題は「煮凝(にこごり)」。

佳作

元日を歩く人また走る人

松浦学

大鍋の火の赤々と大晦日

安福巖

入選

垂直に雪降る夜は深海魚

川浪多萬恵

読初や返却レシート葉にし

銀子

貸出 ランキング

今現在人気の
の本は？

貸出回数の多かった本をご紹介します。
(令和7年1月1日～令和7年4月15日現在)



1 『ともぐい』

河崎 秋子／著

2 『あなたが誰かを殺した』

東野 圭吾／著

3 『透明な螺旋』

東野 圭吾／著

4 『風に立つ』

柚月 裕子／著

5 『架空犯』

東野 圭吾／著

館長随想 (三十八)

—道南の俳句— 1 栄えた俳句文化

俳句の会の方から私に講話を頼まれ、道南の俳句の歴史を振り返り勉強する機会をいただきました。3回シリーズで図書館だより「ハトダヨ」でもお伝えしていきます。

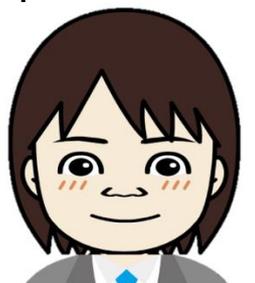
「函館に俳句の石碑が点在し、「函館俳壇史録」(2008年)には石碑の説明があります。松尾芭蕉や斉藤玄、大塩無外の名前が並びます。函館にゆかりのある歌人 石川啄木も少ないながらも俳句を残していますし、土方歳三、中島三郎助も俳句を詠んでいます。俳句はこの地に古くから根付いていました。

江戸時代を中心に俳諧連歌(発句(五・七・五)と(七・七))が栄え、発句部分を独立させた「俳句」という言葉を使ったのは正岡子規が初めてです。松前藩主松前慶廣が1951年に京都に上り、連歌師里村紹巴と句を詠んでいます。俳句は武家社会のたしなみでした。里村直筆の連歌集は当館で所蔵しており貴重なものです。東北は松尾芭蕉をはじめ俳句文化の醸成があり、海を越えた北海道も大いに影響を受けました。幕末には松前、江差の交易は盛んとなり、文化も発展しました。江差では句会の行われた、旧関川家別荘が今も江差町有形文化財として残っています。

吉田布席によって来道している東北の俳壇四天王の一人とされる松窓乙二(しょうそうおつに 1756年～1823年)の作品を当館で所蔵しています。松窓は高龍寺近くに「斧柄社(おのえしや)」を結成しており、本道最初の俳句結社で、俳句文化が函館で根付いたのはこのころと推測されます。ほかにも著作の『箱館紀行』は函館の様子を記述したものです。修検僧として旅をしますが、大名をはじめとした戦略情報を得て歩き、当時俳句は単なる文化ではなく、相手の心を読み解くツールの一つでした。

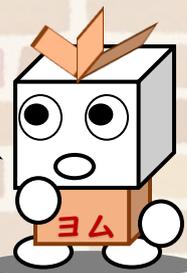
当館所蔵資料は貴重資料で書庫にあります。デジタル資料館に二次資料がありオンラインでの閲覧が可能です。

(館長 落合仁子)



閉架書庫ってどんなところ？

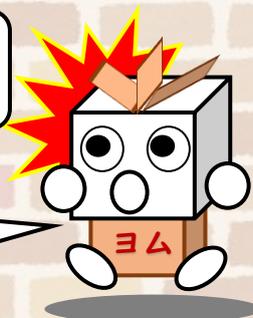
検索をすると置き場所に「閉架」と書いてある本があるけど、「閉架」ってどこだろう？



お答えしよう！

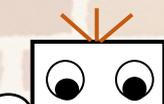
せんになん!?

せんせいじゃ。



ほう。

本を保管しておく倉庫が別にあって、その場所を「閉架書庫」と呼んでおるのじゃ。閉架にはお客さんが普段見ている棚には入りきらない古い本がたくさん保管されているぞい。



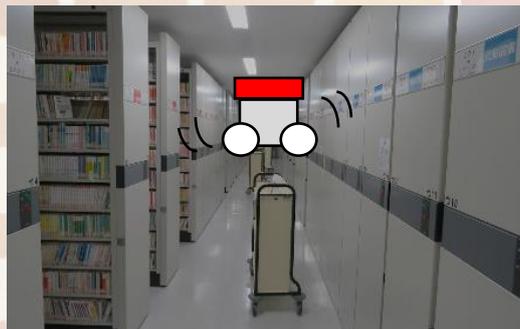
「閉架書庫申込用紙」を記入してもらえればスタッフが本を倉庫から持ってくるぞい。

閉架書庫資料利用申込書	
令和 年 月 日	
氏名	利用者番号 510
資料種別	閉架書庫1・閉架書庫2・郷土資料・その他 () 閲覧・貸出
資料名	
著者名	出版社

飛べたのっ!?



探してくるじゃ。



どこじゃろ？



5
10
分
後



わーい！
どうもありがとう！

お待たせしました。お探しの本を持って来ましたじゃ。借りる場合は貸出手続きをしてください。

